

病院長就任のごあいさつ

この4月から細井延行前院長の後任として院長に就任いたしました葛谷雅文と申します。前職は名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学分野（診療科としては老年内科）で、老年医学、高齢者医療を専門としてきました。老年医学の専門の講座がある大学は旧国立大学では現在東京大学、大阪大学と名古屋大学にしかなく（私学には複数あります）、珍しい講座かもしれません。複数の疾患を抱える脆弱な高齢者の診療を得意としています。

その他名大病院では地域連携・患者相談センターのセンター長を務め、名大病院にはなかった地域連携部門を立ち上げ、現在ではMSW、看護師、事務、専任医師二人を抱える大きな組織になりました。また高齢者医療の中で栄養障害をテーマにしていた時代があり栄養管理部の部長やNST委員長も務めておりました。

名鉄病院は初めての赴任となり、しかも長年院長を務められ、名鉄病院の発展に大きく貢献された細井先生の後任ということで不安と共に大変な緊張感の中にいます。名鉄病院は1956年（昭和31年）の開設とお聞きしており、歴史を感じるとともに、1956年は私の生まれた年でもあり、不思議な縁を感じます。

名鉄病院も一時経営的に厳しい時代があったとお聞きしていますが、現在は細井前病院長の下、スタッフの皆様の努力により、地域の皆様に愛され、信頼される病院として発展したと聞いています。実際、3月に名大病院の部長会で退職の挨拶の際に初めて「4月から名鉄病院に赴任する」と話すと、何人かの教授に「良い病院に赴任しますね」、と声を掛けられました。ますます気が引き締まる思いでした。

私自身の果たすべき役割は、この地域に愛され、地域医療の担い手として既に高い評価を得ている名鉄病院をさらに発展させるという、大変難易度の高い目標を達成することにあります。これには私だけでできるわけもなく、今までと同様なスタッフ皆様の協力・協調、さらには発展的な意見の交換が重要です。これには風通しの良い、コミュニケーションが円滑にできる組織作りが必要です。この円滑なコミュニケーションは病院の組織作りのみならず、安全そして効果的医療を実施するための職種間連携、さらには病病・病診・病福連携などの地域連携にも重要であることは言うまでもありません。私自身この名鉄病院に早く慣れて、皆様とともに前進できることを期待しています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



名鉄病院
病院長

葛谷 雅文

副院長就任のごあいさつ

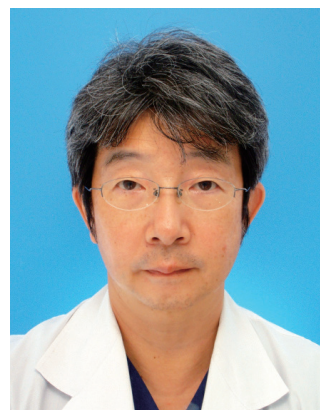
2022年4月より副院長を拝命いたしました周術期管理センターの藤原祥裕です。私は常々、病院には安全で質の高い医療を効率的に提供する責務があると考えてきましたが、それを実現するためには病院としてのガバナンスを働かせ、生み出したアウトカムを正しく評価し日々業務の改善を図っていくことが大変重要です。私の専門は麻酔・集中治療ですので、主に周術期医療分野を中心に私に与えられた役割を果たしていきたいと思います。とは申しまでも、私も当院に赴任したのは昨年8月で、まだ当院のことを完全に把握しているとはいいいがたい状況ですが、皆様のお力を借りながら微力ではありますが当院のさらなる躍進に貢献していきたいと考えておりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



藤原 祥裕

2022年4月1日より副院長職を拝命いたしました。私は2011年10月1日より名鉄病院消化器内科にお世話になり、勤務して11年目となりました。ほどなくして消化器内科を兼務しながら、救急部として救急外来の拡充に努め、医療支援センター長として地域の皆様および当院かかりつけ、入院患者さんのために、近隣の診療所の先生、スタッフの皆様のお力をかりながら奔走してきました。この間名鉄病院は老朽化していた1号館を新しく立て直し、まさに心機一転した時期に立ち会うことができ、またさまざまな出会い、貴重な体験をさせていただきました。直近では2020年の年始から日本でも感染が問題となっている新型コロナウイルス感染症に対して病院全スタッフとともに日々戦ってきましたが、このまま収束に向かってくれることを願うばかりです。

私は今後、救急部業務から離れ、医療支援センター長および研修管理室長となります。葛谷新院長のもと、研修医および専攻医の育成に努め、より良い研修病院を作っていきたいと思っています。これからも地域の皆様および院内全てのスタッフのお力をかり、全力で取り組んでいきますので、なにとぞよろしくお願いいたします。



竹田 欽一

この度副院長を拝命しました土屋篤志と申します。2009年に名鉄病院の整形外科に赴任して13年が経過しました。2013年に関節鏡センター（現在は関節鏡・スポーツ整形外科センター）を開設させて頂き、肩・肘関節疾患やスポーツ選手の外傷・障害に対して関節鏡を用いた低侵襲な治療を専門として行っていました。近隣の医療機関の先生方から肩や肘の痛みの患者様を数多くご紹介して頂き、おかげさまで整形外科の手術症例の4割強が関節鏡手術となっております。この場をお借りして御礼申し上げます。副院長就任にあたり、リハビリテーション部長、救急部副部長も兼任となります。今後は自分の専門分野だけでなく、副院長として名鉄病院そして地域医療の発展のため尽力していく所存でありますので宜しくお願い申し上げます。



土屋 篤志

看護部長就任のごあいさつ

この4月から看護部長を拝命いたしました。身にあまる重責ではございますが、鋭意努力いたし皆さまのお役に立ちたいと思っています。看護部ではさらに、32名の看護師が加わり、看護師一人ひとりがやさしい笑顔で思いやりのある看護の実践に努めたいと思います。

看護師は、チーム医療の要として各職種とコミュニケーションを図り、専門性が発揮できるようにキャリア開発に取り組んでいます。また、看護のスペシャリストとして、診療看護師、がん看護専門看護師、認定看護師（救急看護、認知症看護、感染管理、摂食嚥下障害看護、皮膚排泄ケア、がん性疼痛看護、がん化学療法看護）が活躍しています。

わが国の現状は、従来の病院完結型から、医療・ケアが一体化した地域完結型の体制への転換が求められています。当院は名古屋市西区唯一の急性期総合病院として、地域の皆さまのニーズにお応えし、信頼される安心安全な医療・看護を提供する重要な役割があります。“その人らしく”を大切に病院から地域へつなげる支援を心がけたいと思います。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。



高橋 須磨子



血管外科のご紹介



4月から血管外科を担当しております只腰雅夫と申します。これまでも不定期に手術でお邪魔しておりましたが、定期の外来を始めさせていただきます。血管外科で取り扱う主な疾患は以下の通りです。

(1)透析シャント造設・PTA

慢性腎不全により人工透析をおこなっている患者さんの透析シャントの造設・PTAをおこないます。人工透析では毎分200ml程度の血液を抜いて、機械できれいにし、身体へ返します。点滴や採血をする普通の血管ではこれだけの血流がありません。そこで手首で動脈と静脈をつなぎ合わせて、血流の多い静脈（シャント）を作成します。よい静脈がない場合は、人工血管を皮下に埋め込むこともあります。

(2)下肢閉塞性動脈硬化症

脚の動脈が、動脈硬化で狭窄・閉塞する病気です。近年はカテーテル治療が進歩・増加して、手術は減少傾向ですが、動脈病変の部位によっては、外科的治療が適していることもあります。

(3)下肢静脈瘤

レーザー治療が保険適応となってから、下肢静脈瘤治療は大幅に増加していますが、一部で手術不要な患者さんにまで手術されているという不適切治療が問題になっています。静脈瘤は見た目の静脈が太いだけではなく、静脈弁不全、静脈逆流があることなどが、手術の要件となっています。手術は静脈瘤専門クリニックへ紹介させていただきますが、まずは手術が必要な状態かどうか不安な方はお越しくださればと存じます。

2022年4月よりレディース健診を始めました

乳がんや子宮がんなど女性特有の疾病に対する健診を、できるだけ気軽に受診していただき、少しでも疾病のことや予防方法を知っていただくための、女性を対象とした健診です。

基本検査項目

当院では、以下の3つを柱としたレディース健診を実施します。

(1) 乳がん検診としての「マンモグラフィー+乳腺エコー+触診(希望者)」

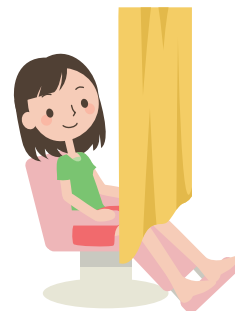
複数の検査方法を併用することで、乳がんのより正確な診断が可能となります。



(2) 子宮頸がん検診としての「子宮頸部細胞診+ヒトパピローマウイルス(HPV)検査」

子宮頸部細胞診とヒトパピローマウイルス(HPV)※1 検査を組み合わせることで、予防や早期発見が期待できます。

※1 ヒトパピローマウイルス(以下HPV)に感染すると、多くは自然排除されますが、排除されずに感染が持続すると、一部に前がん病変(がんになる前の状態)を経て子宮頸がんが発生します。



(3) 「隠れ貧血(潜在性鉄欠乏貧血)」を調べるための血液検査

体力が低下した、疲れやすい、イライラする、息切れがするなどの症状は隠れ貧血(貧血の前段階の状態)が原因かもしれません。

レディース健診では、一般健診では含まれない「フェリチン」を測定することで隠れ貧血をチェックします。



レディース健診実施日

実施曜日	月・火・水・木(各日定員あり)
時 間	10:00~(2~3時間)
料 金	22,000円(税込み)

LET'S GO!!



お申込み・お問い合わせ

レディース健診は予約制です。ご希望の方は、下記の方法で事前にお申し込みください。

ご予約方法

- ・名鉄病院健診センター窓口にて直接お申込み
- ・電話にてのお申込み

電話	052-551-2800(健診センター直通)
FAX	052-551-2801(健診センター直通)
受付時間	月曜日~金曜日の10:00~16:00(土日祝日は除く)
受付開始日	受診日の6か月前同日より



ご予約いただいた方には、レディース健診の受診日の約2週間前に、案内書・注意事項などを郵送します。
ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。

小麦粉・卵液不要！簡単ヘルシーメンチカツ



キャベツは芯に近い所はメンチカツの具材として、外側は千切りにして添えると栄養価の高い部分を無駄なく摂取できます。豆腐を使用し、揚げ焼きにすることで重たくなりがちな揚げ物でもヘルシーに食べられます。

ソースではなく大根おろしや大葉など薬味を添えるとさっぱりと食べられ、消化も助けてくれます。



【材料2人分(6個分)】

- キャベツ……………200g
- 豚ひき肉……………100g
- 玉ねぎ……………1/2個
- 木綿豆腐……………1/2丁
- 溶き卵1個……………1個
- 塩……………小さじ1/3
- コショウ……………少々
- パン粉、揚げ油、ソースや薬味適宜

【作り方】

- ①豆腐は水切りしておく。
キャベツは小さめのざく切りにし(粗くてOK)、電子レンジ600Wで2分加熱し水気を取っておく。
玉ねぎはみじん切りにする。
- ②ボウルにひき肉、塩、溶き卵を入れ手で混ぜる。
①のキャベツ、玉ねぎ、水切りした豆腐、コショウを入れ更に混ぜる。まとまったら平らな円形に形を整えて直接パン粉をまぶす(小麦粉→卵液の工程は必要ありません)。
- ③鍋から1cm程度の油を熱し、中火で揚げ焼きにする。
綺麗な焼き色がついたら裏返し同様に焼き、中まで火を通す。
(裏返す時以外はあまり触らない)
- ④キッチンペーパーで油を切り器に盛りつける。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11
URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL052-551-6121(代表)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数

HCU	12床
一般病床	321床(7:1看護)
地域包括ケア病床	40床
合計	373床

診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 小児科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 血管外科
- 循環器内科
- 血液内科
- 小児漢方内科
- 女性泌尿器科
- 麻酔科
- 腎臓内科
- 内分泌・代謝内科
- 外科
- 脳神経外科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 消化器内科
- 透析内科
- 消化器外科
- 婦人科
- 眼科
- 病理診断科
- 呼吸器内科
- 老年内科
- 整形外科
- 皮膚科
- 形成外科
- リウマチ科

診療センター

- 内視鏡センター
- 関節鏡・スポーツ整形外科センター
- 予防接種センター
- 周術期管理センター
- 認知症疾患医療センター
- 健診センター
- 透析センター
- 糖尿病センター
- ウロギネセンター
- 中耳サージセンター

専門外来 ※予約制(一部を除く)

- 禁煙外来
- ASO外来
- シルバークリニック
- 糖尿病透析予防外来
- 小児慢性疾患外来
- 関節鏡外来
- 小児整形外科外来(月1回・不定期)
- リウマチ膠原病内科
- ペースメーカー外来
- インスリン導入外来
- フットケア外来
- 乳腺外来
- スポーツ外来
- 女性泌尿器科外来 ほか
- スポーツ内科(他院から紹介のみ)
- 肝臓外来
- 糖尿病眼合併症外来
- 乳児健診
- ストーマ外来
- 音声外来



1号館前の名鉄病院駐車場について
平日7時～17時の利用で、来院の方は割引サービスが可能です。
1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引
認証を受けてください。
また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医療
連携室までお問合せください。